

# Create the **New** Values

新たな価値を創造し続ける



金融を、もっと面白く。

## トレーダーズホールディングス通信

2022年4月1日～2023年3月31日

トレーダーズホールディングス株式会社

証券コード:8704

## 『TOP MESSAGE』

## ～新天地から新たな飛躍を目指して～



皆様には、日頃より弊社社業に格別のご支援ご高配を賜りまして、ここに改めて深謝いたします。

さて、ここに「トレーダーズホールディングス通信」をお届けするにあたり、当社を代表してご挨拶申し上げます。

当社グループは、本年4月に、拠点を恵比寿に移し、新天地にて新たなスタートを切りました。2023年3月期はおかげさまで過去最高の営業収益と当期純利益を更新することができ、経営体質をより強固なものに改善した今、持続的な成長を成し遂げていくためには、金融商品取引事業とシステム開発事業の担い手となる優秀な人財を、今後も持続的に確保し続けていくことが重要な課題であると考えています。

株主様や個人投資家のお客様に選ばれる企業となるためには、付加価値のある良質なサービスや金融商品・システムを生み出す人財の確保が、今後の業界競争を勝ち抜くための源泉であると同時に、企業の行く末を左右する生命線でもあります。

従業員の労働意欲と生産性を高めうる魅力的なオフィス環境を整備し、ブランディング効果を高める本

社機能を充実させることで、高度な技術や知見を有する人財を増やし、さらなる飛躍に挑戦してまいります。

中核事業の深化・拡充に注力し、競争が激しい証券業界において高い利益率を維持し続けていくことが特に重要であり、これからもグループ各社が有する強みに一層の磨きをかけ、今年度が最終年度となる現在の中期経営計画の目標達成に向けて全力で取り組みます。

新たな価値を創造し続ける努力を惜しまず、すべてのステークホルダーの皆様に対して、最も信頼される“FinTech”グループを目指すことで、だれもが未来に投資できる社会を実現させ、「金融を、もっと面白く。」する会社となるべく、全役員・従業員が一丸となって、進んでまいります。

引き続き、皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

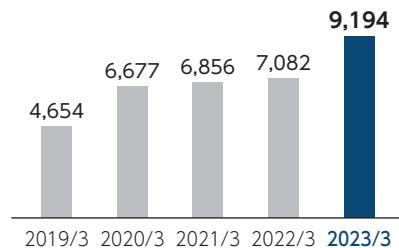
トレーダーズホールディングス株式会社  
代表取締役会長兼社長

金丸貴行

## 決算ハイライト (2019年3月期～2023年3月期)

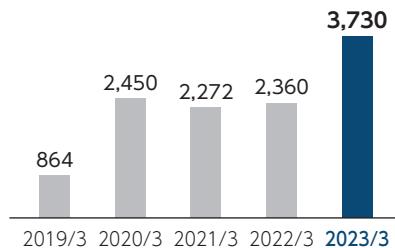
## 営業収益

単位：百万円



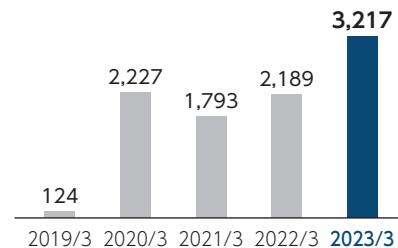
## 経常利益

単位：百万円



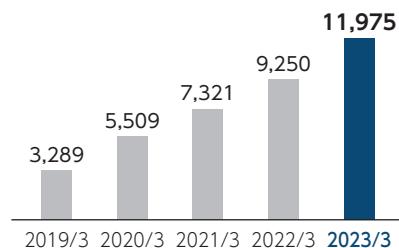
## 親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



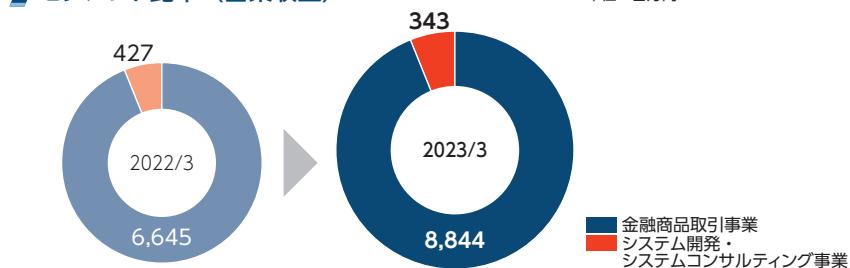
## 純資産

単位：百万円



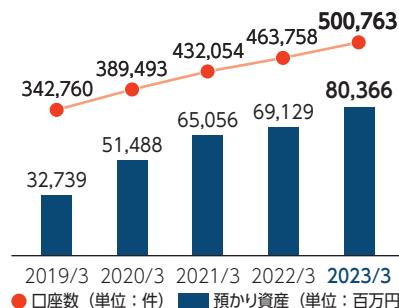
## セグメント比率 (営業収益)

単位：百万円



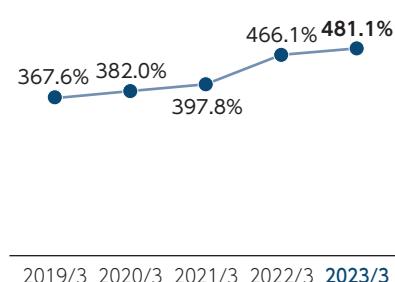
## トレーダーズ証券

## 口座数及び預かり資産



## 自己資本規制比率

単位：%



自己資本規制比率とは、金融商品取引業者の経営の健全性を測る指標のことで、金融商品取引法においては、例えば140%を下回った場合には金融庁に届出を提出することなどが求められています。2019年3月期には、367.6%でしたが、当期末は481.1%と健全性が增强されておりあります。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第23期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	第24期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	増減
営業収益	7,082	9,194	2,112
受入手数料	59	86	27
トレーディング損益	6,584	8,757	2,172
金融収益	1	1	0
その他の売上高	427	343	△84
その他	9	6	△3
金融費用	51	53	1
その他の原価	457	688	230
純営業収益	6,573	8,452	1,879
販売費及び一般管理費	4,201	4,710	508
取引関係費	1,832	2,209	376
人件費	1,462	1,427	△34
不動産関係費	470	588	117
事務費	64	74	10
減価償却費	217	250	33
租税公課	75	131	55
その他	78	28	△50
営業利益	2,372	3,742	1,370
営業外収益	17	11	△5
営業外費用	29	23	△5
経常利益	2,360	3,730	1,370
特別利益	76	27	△49
特別損失	59	127	67
税金等調整前当期純利益	2,377	3,630	1,252
法人税、住民税及び事業税	284	605	321
法人税等調整額	△96	△193	△96
法人税等合計	188	412	224
当期純利益	2,189	3,217	1,028
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△0	-	0
親会社株主に帰属する当期純利益	2,189	3,217	1,028

トレーディング損益は、お客様の預り資産を順調に積み上げていく中で、為替相場が空前の活況を呈したことにより過去最高益を記録しました。

その他の売上高は、システム開発・システムコンサルティング事業の売上高です。当期は、トレーダーズ証券のシステム開発・改修等に注力し、外部売上は減少しました。一方で、web制作・DX化支援・セールスコンサルティングなど、Fintech企業としての幅を広げる活動を行いました。

「LIGHT FX」においてレベニューシェア型の広告宣伝契約をしていたため、トレーディング損益の増加に伴い広告宣伝費が増加しました。

従業員数が前期末に比べ16名増加しましたが、人件費は前期と比較して役員報酬及び賞与の減少により34百万円の減少となりました。

本社移転により不動産費が増加し、FX取引に使用するサーバー入れ替えによりシステムコスト（器具備品費）が増加しました。

繰延税金資産1億93百万円の計上により税効果会計を適用し調整しております。

前期と比較して10億28百万円増加となる32億17百万円の親会社株主に帰属する当期純利益を計上し、当社創業以来、最高の最終利益計上を果たすことができました。

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第23期 (2022年3月31日)	第24期 (2023年3月31日)	増減	
資産の部				
流動資産	72,821	86,320	13,498	
現金及び預金	5,227	5,235	8	
仕掛品	2	6	4	
預託金	61,352	72,646	11,294	お客様の預り資産が増加したことにより、預託金が前期末比で112億94百万円と大幅に増加しました。
トレーディング商品	1,141	543	△598	お客様のFX取引量の増加により建玉残高が増加し、カバー取引先への外国為替差入証拠金が増加しました。
短期差入保証金	4,558	7,119	2,561	
その他	570	779	208	
貸倒引当金	△30	△10	20	
固定資産	1,277	1,997	719	
有形固定資産	46	285	239	本社移転の影響で有形固定資産が増加しました。
無形固定資産	490	638	148	
投資その他の資産	741	1,072	331	
資産合計	74,099	88,317	14,218	
負債の部				
流動負債	63,656	75,226	11,570	
トレーディング商品	242	208	△33	
預り金	19	20	0	
受入保証金	61,379	73,083	11,703	前期末と比較して本社移転により長期差入保証金が1億38百万円増加、回収可能額の増加により繰延税金資産が1億93百万円増加しました。
短期借入金	849	860	10	
1年内返済予定の長期借入金	54	72	17	
1年内償還予定の社債	—	100	100	お客様の預り資産が増加したことにより、受入保証金が前期末比で117億3百万円と大幅に増加しました。
未払法人税等	207	288	80	
賞与引当金	—	181	181	
その他	901	411	△489	
固定負債	1,192	1,115	△76	
社債	700	600	△100	
長期借入金	458	463	5	有利子負債は前期末と比較して32百万円増加しました。有利子負債は、急激な為替相場変動に備え、カバー取引先金融機関への差入保証金等に充当しております。
役員退職慰労引当金	—	16	16	
退職給付に係る負債	34	36	1	
その他	0	0	—	
負債合計	64,849	76,342	11,493	
純資産の部				
株主資本	9,205	11,922	2,717	
資本金	1,500	1,564	64	自社株買いを実施いたしました。
資本剰余金	842	901	58	
利益剰余金	6,870	9,768	2,897	
自己株式	△7	△310	△302	
その他の包括利益累計額	45	52	7	
為替換算調整勘定	45	52	7	
純資産合計	9,250	11,975	2,724	当期純利益の計上により純資産額が100億円を突破し、自己資本比率は前期の12.5%から13.6%へと高まりました。
負債・純資産合計	74,099	88,317	14,218	

# Brand Statement

ブランドステートメント



金融を、もっと面白く。

これまで 트레이ダーズが培ってきた強みをさらに磨きながら、  
これからの新しいトレーダーズが目指す姿を指し示すため、  
ブランドロゴを刷新し、さらにタグライン、ミッション、  
ビジョン、バリューを策定しました。

今後の私たちのすべての活動の原点・指針となるものです。

## Logo Concept

ロゴコンセプト

社会をより良くしていく  
という決意を表現

Tの横棒がぐるっと文字を一周し、円を描いているロゴですが、よく見ると元の位置まで戻ってきた線が、はじめの線を一段上回っています。

これには「正しいリテラシーを持つことで、堅実に成果を生み、資産形成ができるようにサポートします」というメッセージを込めています。

また、デザインのアクセントとして「a」の文字色に赤を用い、「今」の中に明るい「未来」を見出すさまを表現すると共に、経済の血液といわれる金融分野で、社会をより良くしていくという決意を表現しています。過去もすべて受け入れ、新しいトレーダーズを築き上げていきます。

## Tag Line

タグライン

金融を、もっと面白く。

このタグラインには、個人の方でも安心して投資がしやすい環境づくりなど、トレーダーズグループのこれまでの挑戦や顧客目線でのサービスという精神をふまえ、「金融」のハードルを下げ、投資そのものへの期待感、ワクワク感を抱いていただきたいという想いを込めています。

## Mission

ミッション

Create  
the New Values

新たな価値を創造し続ける

## Vision

ビジョン

お客様から最も信頼される  
“FinTech”グループとなり、  
だれもが未来に投資できる社会を  
実現させる

## Value

バリュー

● トレイダーズホールディングス株式会社

関わるすべての“人”を大切にしながら、  
コンプライアンスとダイバーシティ  
(多様性)を尊重した経営で、  
変革にチャレンジし続ける

● トレイダーズ証券株式会社

金融リテラシーの向上に貢献しながら、  
お客様と社会が求める新たなサービスの  
提供にチャレンジし続ける

● 株式会社FleGrowth

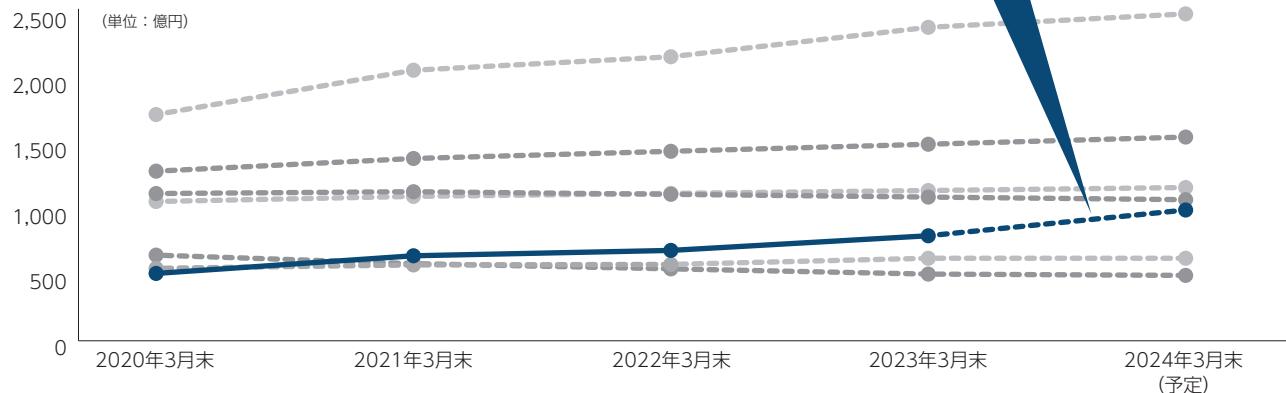
競争力のあるサービスを提供しながら、  
スピード感をもって安定的かつ革新的な  
システム開発にチャレンジし続ける

# ● 中期経営計画の進捗

## 中期経営計画の目標金額について

- ▶ 収益性の高いFXにフォーカスし預り資産増加を計画
- ▶ 業界2位グループ下限である預り資産1,000億円を必達とする

預り資産  
**1,000億円**を達成し、  
FX業界  
**第2位グループ**へ！



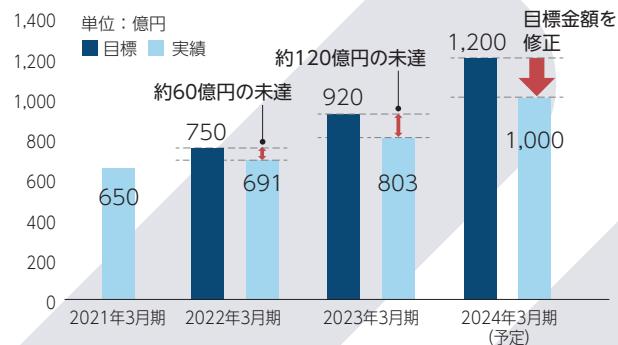
## 事業環境の変化と方針の切り替え

- ▶ 暗号資産CFD取引の新サービスの提供時期の遅延に加え、暗号資産の相場が崩壊  
米国での暗号資産交換会社の破綻等でイメージが悪化し信用不安とともに取引量が低下  
中期経営計画提出当初の想定とは事業環境が大きく変化した
- ▶ 環境の変化をチャンスととらえ、  
経営資源をFXにフォーカス  
FXにおける預り資産残高は当初の想定を超えて推移
- ▶ その後のFX市場の活況をしっかりとらえ、  
2期連続の上方修正を達成  
(2022年3月期及び2023年3月期)

## 預り資産の修正について

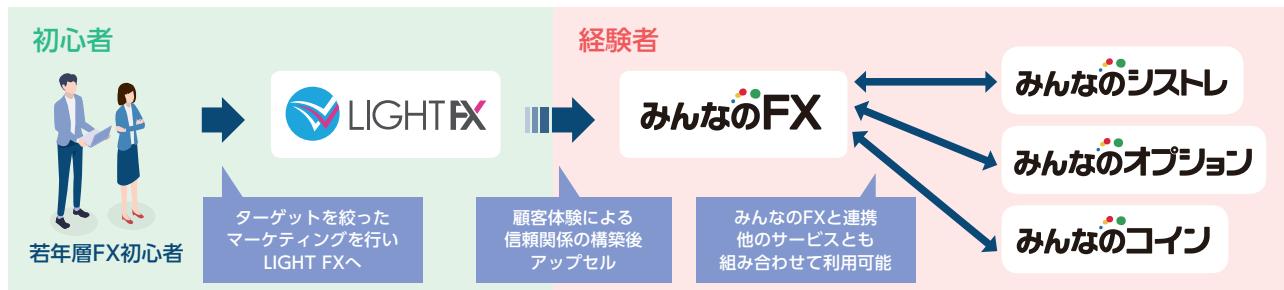
- ▶ 中期経営計画の最終年度である2024年3月期の目標金額を1,000億円に修正

### 目標預り資産と実績の推移



## 2024年3月期の施策

### LIGHT FX



### LIGHT FXの具体的な施策

#### 業界最高水準の スプレッド・スワップを生かした戦略

- ▶ LIGHT FXのリニューアルを行い、業界NO.1のスワップを訴求  
高スワップ戦略の主軸サービスとなり  
中長期投資を目的とした新規顧客を獲得

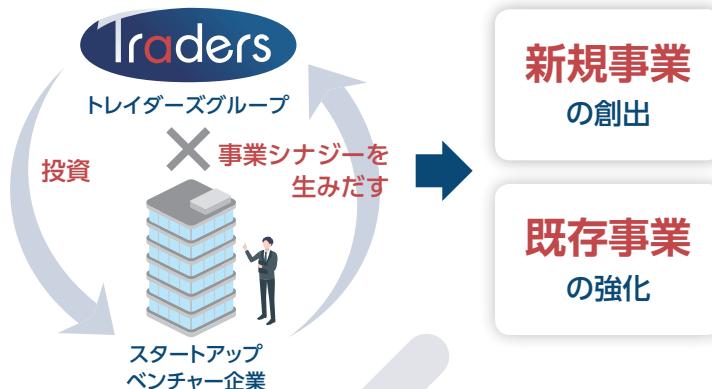
#### 新規マーケティング施策を計画・遂行

- ▶ Webブランディングに強い広告代理店と  
タッグを組み、ターゲット顧客層に訴求を強化
- ▶ 認知度向上に向けたクリエイティブの刷新を  
予定、新規のプロモーションに注力

### CVCファンド設立

#### 2023年4月19日に 「トレーダーズFinTechファンド」を設立

- ▶ 出資額:10.1億円 運用期間:10年
- ▶ 高度な金融スキルを有する  
インベストメントLab株式会社とタッグ
- ▶ 革新的な技術・アイデアを持つスタートアップ  
(主にフィンテック領域)と協業  
出資先企業の成長をサポート、事業シナジーを  
生み出し、新たなビジネスの柱へ



# 恵比寿ガーデンプレイスへの本社移転が完了

2023年4月24日より、新オフィスにてグループ全社の営業をスタートさせました。

## 1 グループ会社間でのコミュニケーションが増加

カフェエリア等の共有スペースが多くなったため、グループ会社間でのコミュニケーションが増加し、さまざまなアイデアが生まれています。



カフェエリア



簡易ミーティング用ブース



大会議室 (Web会議等が可能に)

## 2 ディーリングルームには為替表示モニターを設置

ディーリングルームには、メディア向けの取材を見込んで、為替表示モニターを設置しました。各通貨ペアの価格が表示されており、カフェエリアからもガラス越しに見ることができます。

### 世界時計

世界各国の主要都市の現地時間が表示され、一目で世界中の時間がわかるようになっています。



ディーリングルーム モニター



ディーリングルーム 世界時計

## 3 カフェエリアでは大型プロジェクターを設置

ロイヤルカスタマーへ向けた金融セミナー等を開催できるようになりました。



カフェエリア

# ● トレイダーズグループの考えるサステナビリティ

## Sustainability Policy

これまで、わたしたちは様々なステークホルダー、すなわち株主、投資家、お客様、お取引先、社員、関係諸機関等と適切に協働し、もしくは支援を得ながら、企業として少しずつ成長の道を歩んでまいりました。

当社グループは、上場会社として、また、様々な事業を営む企業体として、自己の利益だけを追求することなく、

これからも、金融商品取引事業とシステム開発コンサルティング事業のそれぞれの活動そのものの中で、

長期的に社会や環境に貢献しうるマテリアリティへの取り組みを進めてまいります。

今後、当社グループの成長をけん引するために、ステークホルダーとの協働により、社会的価値と経済的価値を向上させ、

または、創造する取り組みを推進することこそが、社会や環境面におけるサステナビリティを巡る諸課題に対する、

わたしたちの義務と責任であり、使命であると考えています。

### Environment

# E

## 環境的な課題の解決のために

企業活動を通じて負荷をかける地球環境に対する、企業としての取り組み（環境負荷の低減）の実践と継続

### ペーパーレス化の推進・森林認証用紙の使用 【森林資源の保護】



当社グループでは、会議時のペーパーレス化(タブレット端末・ノートPC・共有モニターを用いた電子会議、インターネット会議の促進)、契約書の電子化によるペーパーレス化、業務作業の自動化ロボット対応化(RPAの導入による業務効率化)や、森林認証制度PEFC認証のコピー用紙、FSC®認証の名刺を使用することにより、森林資源の保護を通じた温室効果ガス削減、CO<sub>2</sub>削減に貢献しています。



### 再生可能エネルギー由来電力の使用



これまで当社本社が入居していた住友東新橋ビル3号館における使用電力につきまして、2022年9月に再生可能エネルギー由来の電力に切り替えました。また今春本社を移転しました恵比寿ガーデンプレイスでは入居する全てのテナントが再生可能エネルギー由来の電力の提供を受けており、当社も再生可能エネルギー由来電力を使用しております。



グループ会社のサステナビリティの取り組みの詳細についてはこちら



トレイダーズ証券



FleGrowth



## 社会的な課題の解決のために

## 日本ユニセフ協会への寄付



当社グループ各社は本年2月にトルコ共和国、シリア・アラブ共和国での地震により被災された皆様への支援として、ユニセフ(国連児童基金)へ総額500万円の寄付をいたしました。ユニセフは被災した家族や子どもたちが切実に必要としている支援、特に命を守るための安全な水と衛生的な環境を提供することを最優先としており、当社グループは被災地の一日も早い復旧を願い、ユニセフを通じて救援物資を必要としている被災者の方々を支援いたします。



## こどものみらい古本募金



内閣府等が主導する「子供の未来応援国民運動」の一環である「こどものみらい古本募金」に日本証券業協会が主導して証券業界全体で取り組んでいる中、子どもの貧困をなくすとの趣旨に賛同し本活動へ参加しております。寄付金は子ども食堂や学習支援を行うNPOへの支援に活用されます。



## 金融リテラシー向上への取り組み①



若年層・学生・女性等幅広い層の金融リテラシーの向上を目指した取り組みとして、「きんゆう女子。」主催の勉強会にトレーダーズ証券の為替ディーラーを講師として派遣するなどの取り組みを進めており、また、書籍出版・寄稿・SNSによる情報発信等、多様な活動も実施しています。



## 金融リテラシー向上への取り組み②



小学生に対する金融教育活動の支援の一環として、東京都内の区立小学校に講師を派遣し、世界のお金や為替取引の仕組み、外国為替ディーラーのお仕事について「ゲストティーチャー」として授業を行いました。6年生の3クラスを受け持ち、多くの児童と楽しみながら、お金にまつわるお話しや投資の重要性とリスクについて、わかりやすく講義を行いました。



## ホームページリニューアル

刷新したロゴデザインを軸に、コーポレートサイトのデザインを一新いたしました。「金融を、もっと面白く」感じていただくために、投資に対する敷居を下げ、身近に感じていただけるような安心感とポップな印象のデザインで制作しております。今後、さらなるコンテンツの充実化を図り、情報発信の強化に取り組んでまいります。

<https://www.tradershd.com/>



## 会社概要 (2023年6月27日現在)

会社名	トレーダーズホールディングス株式会社
英訳名	TRADERS HOLDINGS CO.,LTD.
所在地	〒150-6028 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号 恵比寿ガーデンプレイスタワー28階
設立年月日	1999年11月5日
代表者名	代表取締役会長兼社長 金丸 貴行
従業員数	連結283名 単体29名 (2023年3月31日現在)
資本金	15億64百万円
主な子会社	トレーダーズ証券株式会社 株式会社FleGrowth トレーダーズインベストメント株式会社
会社URL	<a href="https://www.tradershd.com/">https://www.tradershd.com/</a>

## 株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	42,000,000株
発行済株式の総数	29,538,647株
株主数	13,519名

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日 その他必要がある時は、公告により臨時の基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日／中間配当金9月30日
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (東京) 0120-094-777 (大阪)
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法	電子公告 公告掲載URL <a href="https://www.tradershd.com/">https://www.tradershd.com/</a> (ただし、事故、その他のやむを得ない事由が発生し、電子公告ができない時には、日本経済新聞に掲載いたします。)

## 役員の状況 (2023年6月27日現在)

代表取締役会長兼社長	金丸 貴行
常務取締役	新妻 正幸
取締役	金丸 武嗣
社外取締役	市川 正史
社外取締役	川畑 大輔
常勤監査役	小保 真一
社外監査役	菅川 洋
社外監査役	浅枝 謙太

## 単元未満株式の買取り・買増しについて

### 【ご注意】

当社の最低売買単位（1単元）は100株であり、単元未満株式（1～99株）については、証券市場で売買することはできません。

単元未満株式をご所有の株主様は、当社に対し、市場価格で、

- ・単元未満株式をご売却（買取制度）または
- ・単元未満株式につき、単元（100株）にするために必要な株数を当社からご購入（買増制度）いただくことが可能です。

### 【買取制度】

(例) 65株をご所有の株主様の場合  
→当社が、65株を市場価格で買い取らせていただきます。

### 【買増制度】

(例) 65株をご所有の株主様の場合  
→35株（ご所有の65株を100株にするために必要な株式）を、当社から市場価格でご購入いただけます。

### 【本件のお問い合わせ先】

〈証券会社に口座をお持ちの株主様〉  
株主様の口座のある証券会社  
〈特別口座に口座をお持ちの株主様〉  
左記の三菱UFJ信託銀行 証券代行部

お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、別途証券会社等にご確認ください。

特別口座に記録されている単元未満株式につき買取・買増請求をされる場合は、手数料は無料となります。

UD  
FONT  
見やすく読みまちがえ  
にくいユニバーサル  
デザインフォント  
を採用しています。

